

講義名	才)卒業研究		
講義コード	44402	授業形態	演習
担当教員	辻 美代		
開講期・曜日・時限	通年 木曜日 4時限		
備考			

## ゼミ

研究演習

## 学部

経済学部・商学部

## 学科

## 演習名

辻美代ゼミナール(アジア論)

## 概要説明

中国は高度経済成長期を終え、「新常态」つまり安定成長段階に入った。中国は2010年には日本を抜いて世界第二位の経済大国に成長し、現在、米国との厳しい貿易摩擦を抱えている。米国との摩擦は、貿易に限定されるものではなく、経済覇権を争うものとなり、大国間の争いは、世界経済に大きな影響を与えるものであり、米中関係の改善が望まれる。

他方、中国国内に目を向けると、急速な経済成長は、電力・水不足、深刻な公害（環境問題）、経済格差など多くの問題を生んだ。なかでも、環境問題は地球規模で解決が急がれている。その解決には新しい技術の開発や、日本のこれまでの経験や大いに参考となり、日本の協力がこれまで以上に求められている。また、日本にとっても、中国の活力を取り込むことが必要であり、中国は必要不可欠なパートナーである。

現在、中国の日本旅行ブームが続いているとはいえ、日中双方でお互いを正しく理解する機運に欠けている。そのため、ゼミでは様々な情報を収集し、自分の考えて分析できるようにしていきたい。そのため、ゼミでは、企業見学やヒアリング、海外（中国・韓国）研修を積極的に企画し、学生の見聞が広がるようにしていきたい。

## 学位

経済学修士

## 教員よりの要望

日本人学生も留学生も、日本、アジアに興味を持ってください。

百聞は一見に如かず、百読も一見に如かず？ 中国およびアジアに行って自分の目で見て、感じて、考えましょう。五感（目・耳・鼻・舌・皮膚）を全開させて、中国を体感しながら「知識の芋掘り」をしましょう。芋を探し当てるのはちょっと大変ですが、一旦探し当てると、そこから次から次へと芋が出てきますよ。「知識の芋掘り」を楽しめる、好奇心と忍耐力・体力を持って下さい。そして最後、芋掘りの成果を卒業論文にまとめて下さい。

## 教員英字氏名

Tsui Mivo

## 研究室

研究棟 114研究室

## 最終学歴

大阪市立大学大学院経済学研究科後期博士課程単位取得退学

## 主な研究活動・社会活動・研究業績

・年に数回、中国およびアジア地域に現地調査に行きます。

- ・「21世紀型アパレル企業の取り組み 日中アパレル企業を例に - 」『関西大学 経済論集』第68巻第4号（2019年3月）
- ・「20世紀世界繊維事情、モードの「ユニフォーム化」と中国の台頭」『流通科学大学論集 - 経済・情報・政策編』第23巻第2号（2015年1月）
- ・「中国林産業の共生・共栄 国境林産物貿易の推移から」『流通科学大学論集 - 経済・情報・政策編』第22巻第2号（2014年1月）
- ・「東北江省における対ロシア経済交流の現状 木材貿易を中心に」『富山大学極東地域研究センター 平成22年度富山県委託調査研究報告書『富山と対岸諸国との物流』、2011年3月

## 主な卒業論文のタイトル

- ・「中国の国有企業改革」
- ・「中国のベトナム産業」
- ・「野菜の種子について 日本と中国との関係を中心に」
- ・「WTO加盟後の中国経済」
- ・「中国の水環境問題」
- ・「日中友好関係を実現するために」
- ・「霧にかすむ大陸 中国の大気汚染」
- ・「日本と中国の流通事情について」
- ・「中国の物流」
- ・「トヨタ自動車の中国戦略」
- ・「日中アパレル産業について」
- ・「中国コンピューターゲーム産業の展望」

## 趣味・特技

大阪の田舎で生まれ、育ちました。長期大阪（日本）を離れたのは、中国（北京）留学の一年間とイギリス（ケンブリッジ）在外研究の一年間。北京（1980年代末）もケンブリッジ（2004年）も「自然」豊かな都市で、サイクリングやハイキングを十二分に楽しみました。方向音痴ですが、地図とカメラを持つをぶらぶらゆっくり歩くのが好きです。

## 所属

経済学部

## 所属学会

日本現代中国学会、中国経済経営管理学会、アジア政経学会

## 専門分野

中国経済論、アジア繊維産業論

## 選考方法

直接会って、話を決めてみたいと思います。

## 担当科目

アジア史、アジア経済論、経済学入門、教養基礎（歴史）、研究演習

## 備考

留学生の感想を一つ載せます。参考して下さい。

## 評価方法

ゼミへの出席、そして発表・報告等を総合的に評価します。

## 実務経験の有無及び活用